

第53回 ビジネス文書実務検定試験 (27.2.7)

速度部門 日本語問題

(制限時間 10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

1. A4縦長用紙
2. 1行の文字数を30字、1ページの行数を30行に設定しなさい。
3. ヘッダーに試験実施校名、受験番号を入力しなさい。
4. ページ番号を答案用紙の下に入れること。
5. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. 問題のとおり、すべて全角文字で入力しなさい。
2. 長音は必ず長音記号で入力しなさい。
3. 入力したものの訂正や適語の選択などの操作は制限時間内に行いなさい。
4. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することが許されています。

試験終了後

1. 答案用紙が2枚以上になった場合、左端上をステープラ（ホチキス）でとめなさい。
2. 答案用紙、試験問題を提出しなさい。

第53回 ビジネス文書実務検定試験 (27.2.7)

【速度部門 日本語問題】

最近では、新聞やテレビ、雑誌などでふるさと納税の特集をよく目にする。これは、新たに税金を納めるシステムではなく、自分のふるさとである自治体へ寄付をすることだ。このふるさとには、決まった定義はない。出身地以外でも応援したい地域、これから旅行で訪れたい地域など、自由に選択できることが大きな特徴になっている。

以前から、スポーツ選手や歌手の中には、生活している場所とは違う地域に住民税を納めることで、その地域の役に立ちたいと思う人がいる。彼らは、多くの時間を都市で活動しているが、幼少時代に生活していた思い出から、住民票を移さずに税金を納め続けている。また、ある作家は、好きな町に税金を納めたいとして、生活の拠点が無い地域に住民票を移そうとしたことがあった。しかし、ふるさと納税は住民票を移す必要がない。

今までは、税金を納めても使い道が不明確であったため、ふるさと納税を実施している多くの自治体は、寄付する人が使い道を選択できる制度を採用して、明確化している。その使い道は、各自治体により異なっている。例えば、地域の雇用を増やす事業や小中学校の整備、自然環境を守る事業などである。

佐賀県のふるさと納税では、選択できる使い道にNPOへの支援がある。その中には、難病である1型糖尿病への支援が含まれている。この病気は、iPS細胞の研究対象に指定されており、患者の数はおよそ7万人いると推定されている。病気の根治を目指す研究の促進を目的にして、今年度実施したプロジェクトでは、目標額の1千万円の寄付を71日間で集めることができた。寄付の先進国であるアメリカは、1型糖尿病の研究財団だけで、年間に100億円もの寄付を集めている。日本における寄付の市場の規模が、年間に1兆2千億円であるのに対して、アメリカは年間に30兆円もの大きな規模だ。今後日本でも、寄付による研究費の確保が期待されている。

また、鳥取県琴浦町の万本桜公園は、昭和60年代から桜の植樹

第53回 ビジネス文書実務検定試験 (27.2.7)

【速度部門 日本語問題】

を行い、地元の人が公園の管理を行ってきた。その結果、平成元年	857
からは桜の名所として、遠方から観光客が訪れるまでの有名な公園	887
になった。しかし、近年の集中豪雨の被害によって多くの桜が倒木	917
した。そこで、桜の名所を復活させるための寄付事業を実施した。	947
15日間で支援者116人、目標の200万円を集めることができた。	977
今年度は、琴浦町誕生10周年記念事業として、11月23日	1007
に桜の植樹会を実施した。	1020
ふるさと納税は、納める側にも利点があり、その中の一つが税金	1050
の控除だ。個人が自治体に対して寄付をすると、原則として2千円	1080
を超える部分は、一定の限度額までは、所得税や住民税から全額が	1110
控除される。例えば、年収700万円の人が3万円のふるさと納税	1140
を行うと、2万8千円が控除される仕組みだ。ただし、確定申告を	1170
する必要がある。	1179
さらに、企業が寄付を行った場合には、一般的な寄付金とふるさ	1209
と納税では、税務上の取り扱い方法が違ってくる。一般的な寄付金	1239
は、企業の資本金や所得に応じて定められた限度額までは、損金に	1269
算入される。ふるさと納税は指定寄付金にあたるため、寄付をした	1299
金額のうち全てを損金に算入することができる。この結果、節税の	1329
効果が期待できるのだ。しかも、使い道が選択できる自治体に対し	1359
て寄付をすると、社会に貢献した企業だとアピールすることも可能	1389
になる。	1394
この寄付行為は、Webページから必要事項を入力し、カードで	1424
即時決済できる自治体も多い。その地域に出向く必要もなく、非常	1454
に簡単に行うことができる。また、Webページを閲覧した多くの	1484
人に寄付をしてもらえるように、閲覧者の視点を一番に考えながら	1514
システム改善を行っている。例えば、親しみやすいHPの作成や、	1544
誰にでも理解できるように工夫した使い道の表記、寄付内容の詳細	1574
が、即時にわかる自動返信メールの採用などである。	1599
さらに、その地域のPR活動も兼ねて、納めた金額に応じた地域	1629
の特産品や工芸品、振興券などをお礼として送っている。これらの	1659

第53回 ビジネス文書実務検定試験 (27.2.7)
【速度部門 日本語問題】

中には、都市で購入すると高価な牛肉や海産物、果物なども多く含まれている。	1689 1696
北海道鷹栖町では、ふるさとの自然や環境を守る事業や、ふるさとを築いた高齢者のための事業、その他町長が必要だと認めた事業の実施を目的として、寄付を募った。1万円以上寄付した人には、地元の牛肉1kgを送っている。さらに、滋賀県多賀町では、子育て支援および福祉に関する事業や、スポーツに関する事業の実施を目的として、寄付を募った。1万円以上寄付した人には、15kgのお米を送っている。このような、地元の特産品に魅力を感じている人も多い。	1726 1756 1786 1816 1846 1876 1906 1913
鳥取県では、寄付をする際の手続きを簡単にするシステムの開発や、人気の高い品を選んで送付することに力を入れた。その結果、平成22年度は約850万円だった寄付金の総額が、平成25年度には約3億3千万円にまで伸びた。	1943 1973 2003 2020
私たちは、このふるさと納税を行うことで、生まれ育った故郷へ恩返しすることができる。また、素晴らしい自然環境や歴史を持つ地域について、大切に思う気持ちを再認識する貴重な機会だ。さらに、寄付をすることで、自分が応援したい気持ちを具体的な形にすることが可能になる。この制度を積極的に利用して、心のふるさとを探してみるのもよいだろう。	2050 2080 2110 2140 2170 2184